

令和8年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅰ期入学試験（留学入試）

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

I 以下の設問に答えなさい。

1. 人工衛星、航空機、UAV（ドローン）を用いたリモートセンシングの、それぞれの長所や短所を説明しなさい。

2. リモートセンシングが自然地理学研究にどのように活用されてきたか、また今後どのような活用の可能性があるかについて、気候学や地形学など具体的な研究分野を例にあげて述べなさい。

[illegible]

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 8 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (留学入試)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

- II 次の①～⑤の 5 つの中から 2 つを任意に選択し、それぞれ、それが人文地理学の研究史において果たしてきた役割・意義を、取り組まれた諸研究を挙げながら説明しなさい。
- ① 「文化 (culture)」を冠した研究、「文化」に取り組んだ研究

② 「生態(学)ecology」を冠した研究、「〇〇生態(学)」研究

③ 「地図化」「現実から地図への変換」

④ 「合理的経済人」を仮定したモデルと「非合理的経済人」を踏まえたモデル改変

⑤ 「(社会)構造 structure」と「(人の)主意・作用 agency」への比重の置き方の相違

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 8 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (留学生入試)

令和 8 年 2 月 21 日 (土) 実施

科 目 名
地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

I. 以下の問題 1. および 2. に答えなさい。

1. 次の語群のなかから 3 個選んで、意味内容を説明しなさい。

「ランクサイズルール」「DID」「環濠集落」「ウィーバー法」「地域おこし協力隊」
「空間的相互作用」

2. 20 世紀後半以降の日本国内の人口移動と、それに伴う地域の変化について、大都市圏と非大都市圏それぞれについて説明しなさい。大都市圏については都心と郊外双方について論じること。また、近年における変化や今後の見通しについてもふれること。

【解答欄】

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 8 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (留学生入試)

令和 8 年 2 月 21 日 (土) 実施

科 目 名	受 験 番 号	氏 名
地 理 学		

地理学専攻

II. 以下の二つの問いに答えなさい。

問 1 あなたがよく知る地域を一つ選択し、その地域の自然地理的特徴について、人間活動との関わりも含めて具体的に説明しなさい。説明のさいは、地域の選択理由、地形、気候、生態系それぞれの空間分布の特徴についても必ず述べること。

問 2 問 1 で述べた地域の景観を変化させる要因について、自然的要因または人為的要因のいずれかに着目して説明しなさい。そのうえで、着目した要因によってどのような景観の変化が生じるのか、理由も含めて具体的に説明しなさい。なお、要因の時間スケールは問わない。

【解答欄】

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験（留学生入試）

令和 6 年 10 月 5 日（土） 実施

科 目 名	受 験 番 号	氏 名
地 理 学		

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

- I 以下の問 1 と問 2 に答えなさい。
- 問 1 次の 5 つの用語の中から 3 つを選び、それぞれについて説明しなさい。
[人口移動圏, ジェントリフィケーション, 地域ブランド, コモンズ, 伊能図]
- 問 2 地域の社会、経済、歴史などを地理学的に分析する際に、統計データを活用することの有用性と問題点について述べなさい。

II モンスーンに支配された湿潤な気候環境と、プレートの沈み込みによる活発な地震・火山活動（地殻変動）に象徴される地形・地質環境を言い表した専門用語に「湿潤変動帯」がある。この語は日本の自然地理学者が提唱したもので、日本は典型的な「湿潤変動帯」に属する国・地域の一つである。また世界各地にも湿潤変動帯に属する国や地域が存在する。

「湿潤変動帯」では、どのような自然災害が特徴的に起こるだろうか。考えられる自然災害の種類を 2 つ挙げ（A と B とする）、それぞれの「発生メカニズム」、「災害の特徴」、「過去 50 年間に起こった具体例（場所と時期）」、「減災・防災に有効な手立て」について地理学的視点で述べなさい。どれが A と B の説明なのかがわかるようにして、別紙の解答用紙に示すこと。（用紙の表面だけでは不足する場合、用紙の裏面を使ってよい）

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (留学生入試)

令和 7 年 2 月 15 日 (土) 実施

科 目 名	受 験 番 号	氏 名
地 理 学		

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

- I. 以下の二つの問いに答えなさい。解答は解答用紙に記入すること。
- 問1 次の用語の中から3つを選び、それぞれについてあなたの知るところを述べなさい。
[CBD, 人口移動, 条里制, 集落形態, 中山間地域, 都市化,
コモンズ, ジェントリフィケーション, ツーリズム]
- 問2 問1で選択した3つの用語から1つを選択し、その用語をキーワードとする地理学的研究について述べなさい。先行研究を具体的に挙げながら、研究対象地域、資料・データ、手法も含めて述べること。

- II. 日本またはあなたのよく知っている国の中から一つの国を選び、「食文化」と「気候」の関連性に関して、具体的な例をあげて説明せよ。なお、説明の際には以下のキーワードのうち1つ以上を使用すること。

キーワード:「季節」「保存」「乾燥」「湿潤」「塩分」「文化」